

■将来構想策定業務委託事業 公募プロポーザル 採点基準

審査員名: _____

評価種別	評価項目および評価概要					
価格評価	<p>・ 配点 40点</p> <p>① 応募者から申し込まれた見積額を比較し、応募者の中で最も低い見積額で申し込んだ者に対し、本評価項目で満点の40点を与える。</p> <p>② 申し込んだ見積額が二位以下の者について、以下の計算式により算出された点数を与える。</p> <p><計算式> $38点 \times (一位の見積額 \div 当該応募者見積額)$ …計算結果に小数点以下が生じた場合は、小数点第一位を切り上げて採点する。</p> <p>[例] 応募者は甲社、乙社、丙社の3者であり、甲社の見積額が300万円・乙社の見積額が181万円・丙社の見積額が180万円であったとき、採点結果は次のとおりである。</p> <p>・最も低い見積額は丙社の180万円であり、丙社には満点の40点を与える。 ・乙社の採点… $(38点) \times (180万円 \div 181万円) \rightarrow 38点$ ・甲社の採点… $(38点) \times (180万円 \div 300万円) \rightarrow 23点$</p>					
	<p>配点60点：各項目ごとに採点する。(各審査員は 0点～6点で採点する)</p> <p>【審査方法】 各審査員が下記「審査項目」について、0点～6点で採点する。</p> <p>【提案評価の評定を算出する方法】 ①各審査員が採点した結果を項目ごとに集計する。 ②項目ごとに集計結果を、さらに全項目で総集計する。 ③総集計した結果を、審査日当日の出席審査員数で除した数(小数点以下は切り上げ)を、「提案評価の評点」とする。</p> <p>[例] 応募者の甲社の項目別採点集計が(1)25点(2)28点(3)27点(4)26点(5)26点(6)25点(7)27点(8)25点(9)24点(10)20点であったとき、総集計は253点となる。 審査日当日の出席審査員数が5人であるなら、$253点 \div 5人 = 50.6$ となり、小数点を切り上げて、甲社の評定は「51点」となる。</p>					
提案評価	審査員Aによる採点	審査員Bによる採点	審査員Cによる採点	審査員Dによる採点	審査員Eによる採点	全審査員項目別採点集計
	(1) 業務を適切に実施できる 経営基盤 を有しているか。					
	(2) 業務を効果的、効率的かつ適正に運営できる 組織・人員体制 であるか。					
	(3) 担当者の人柄が良く、一緒に仕事をしたいと思える人物であるか。					
	(4) 業務に対する知識・ノウハウ・経験等を有しており、十分に活かせられると思えるか。					
	(5) 個人情報や機密情報等の 情報管理 が適切であるか。					
	(6) 企画提案書の内容が明瞭であり、資料性に優れているか。					
	(7) 新病院整備事業の実現に向けた具体的でより 良い提案 になっているか。					
	(8) 作業スケジュールや業務方法を、より具体的で、より 良い提案 になっているか。					
	(9) プレゼンテーションは、聴き手への配慮がなされていたか。					
	(10) 上記項目以外で、 特筆すべき提案 があったか。(審査員の自由裁量による加点)					
提案評価の評定 合計 点						
合計点数 点						